

図書館まつり 実施中！



読書の季節だから、せひ・・・！

学校評価アンケートの結果からもお話ししましたが、本校の課題は、「読書」の時間が少ないこと！そんなことを考えながら、ある雑誌を読んでいたら、驚くべき事実に出会いました。

驚くべき事を知りました。今年もノーベル賞受賞者が発表されましたが、これまでの受賞者のうちの少なくとも20%、約5人に1人がユダヤ系の人々なのだそうです。ユダヤ民族は世界の人口のたった 0.2%ぐらいの人口に過ぎないにも関わらず…。その秘密は、家庭での過ごし方にありました。ユダヤの人の家庭では、子どもを膝の上にちょこんと乗せて、あることをするのだそうです。それは、“読み聞かせ”。1ページ読み終わり、ページをめくるごとに、甘い砂糖をぺろりと子どもに舐めさせるのだそうです。1ページめくるごとにぺろり。またぺろりと……。何て幸せな光景でしょうね。そうして、子どもたちは、沢山の知識と心の栄養を身に付け、育っていくのだそうです。もちろん、今一番大事だと言われることの多い“好奇心”も一緒に！

今まさに、本校では“図書館まつり”開催中！学校と家庭、両輪で読書の習慣を身に付けさせることができたらいいですね！

図書館まつり IN Autumn アラカルト



教育環境（掲示物）に力を！

校舎内の環境をどのように整えるか。これは、子どもたちに学びを提供する上で、授業と同じくらい大事にしたいことです。

- 掲示物で大事にしたいことは、
- 学びへの誘いがちりばめられているか
 - 興味関心を引く内容であるか
 - 旬の話題であるか 等

そんな気持ちで校内を見回すと、教室内や廊下に、秀逸な掲示物があちらこちらに。今回は、そのうちの2つを紹介しましょう。



写真が小さくてすみません。学校にお見えの際は、ぜひ、直接ご覧になって下さいね(*^o^*)

温かな地域の見守りに感謝！

それは数週間前のこと。うん、何か様子がおかしいな？どうしたの？と尋ねると、登校班のみんなが心配して、

「先生、来る途中○○ちゃんが帽子をなくしてしまいました！」

見ると、低学年の児童は、悲しそうな顔。どなたか地域の方が見つけてくれればいいのだが。そう思って校舎内に戻り数分後、事務室に黄色の帽子を手にした職員が…。「どうしたと、その帽子？」と尋ねると、先程地域の方が届けてくださって…。何ということでしょう。思い描いていた展開が現実となったことにびっくり。改めて、地域の皆様に見守られ支えていただいていることを実感する出来事でした。本当に有り難うございました。

入賞おめでとう(*^o^*)

佐賀県児童生徒理科作品展！

- 3年生・・・吉田 美沙（奨励賞）
- 3年生・・・仁井 左喬（佳作）

この作品展、審査に携わった事がありますが、入賞することはなかなかの難関です！入賞と同時に、その Challenge に拍手を送ります♡

